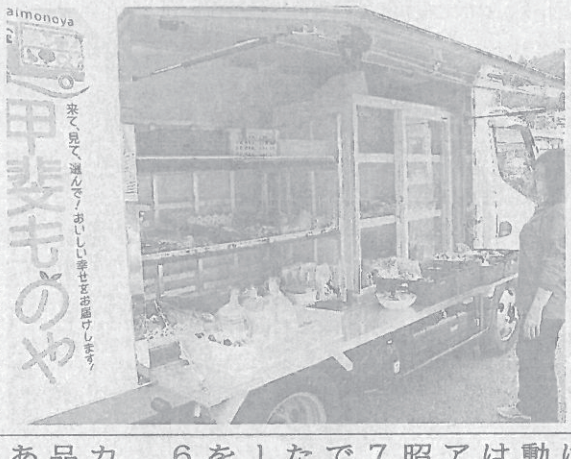
移動スーパー事業拡大

山梨総合運輸 韮崎で販売開始



サービス提供エリアを拡大している移動スーパー ＝甲府市小松町

山梨総合運輸（中央市臼井阿原、樋口恵一社長）が、移動スーパー事業を拡大している。今月、移動販売車を1台増やし、新たに韮崎市内でも販売を始めた。

同社によると、サービス名は「甲斐ものや」。5月に移動販売車1台を購入し、現在は計3台所有している。エリアは甲府、南アルプス、中央、昭和、富士川、身延、早川の7市町で、5月から韮崎市内でもサービスをスタートした。住宅街や公民館、デイサービスなど高齢者が多い場所を中心に1台当たり1日2～6カ所を巡る。

扱うのは野菜やパン、牛乳、カップ麺、菓子など約400品目で、利用者からの要望があれば商品の追加などもしている。利用者の9割近くが高齢者だという。

同社は運送で培った保管、配送などの技術を生かして新規事業を始めようと、2018年に移動スーパーを開始。農林水産省の調査では、スーパーなどが近くになく、自動車も使えないため買い物が困難な「買い物弱者」は、県内に6万8千人いるとされる。少子高齢化の進行で、今後買い物弱者が増加するとみて、事業の拡大を図っている。

同社の担当者は「自分ではスーパーにも行けず、困っている方がたくさんいる。甲斐ものやの知名度を向上させ、より多くの人に活用してもらえるようにしたい」と話した。

〈山本昂輝〉

新入社員（中央）と話す三木工務所の三木守専務（右） ＝南アルプス市寺部

先

談しやすさを心がけている」と言う。

県内景況

県商工会連合会

県商工会連合会がまとめた